



取扱説明書

シチズン上腕式血圧計

CHU302-KU / CHU3021



- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。
- 取扱説明書および電子化された医療機器添付文書に従わない使用がなされた場合、および、勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。
- 本製品の使用目的は、健康管理のために収縮期血圧（最高血圧）および拡張期血圧（最低血圧）を非観血的に測定することです。

製品に表示されているシンボルの意味	
	安全にお使いいただくため、取扱説明書を必ずお読みください。
	BF形装着部
IP20	IP保護等級とは、IEC（国際電気標準会議）60529によって規定された本体による保護構造を等級分類するものです。本製品は、指などの直径12.5mm以上の固形物に対して保護されています。水の侵入に対する保護はありません。

1. 安全上のお願い

ご使用前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
	注意	人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

* 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

- 強制** 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 禁止** してはいけない「禁止」内容です。

警告

- 測定部位の血流が少ない方、血管脈の弱い方、不整脈の頻度の高い方は測定できないことがあります。その判断は医師によります。使用前に必ず医師に相談してください。

- 医師の指導を受けてご自身で測る場合があります。医師の指示に従い正しく測定しましょう。

- 測定結果の自己判断、および治療は危険です。必ず医師の指導に従ってください。→自己判断は、病気の悪化につながるおそれがあります。

- 心臓疾患、その他循環器疾患、重度の血行障害のある方、ペースメーカーをご使用の方や乳腺切除した方、妊娠中の方は、医師の指導に従ってください。→体調不良をおこすおそれがあります。

- 電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。→けがなどの原因になります。

- 傷などの未治癒の腕にカフ（腕帯）を巻かないでください。→症状を悪化させるおそれがあります。

- 治療中で点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕にカフ（腕帯）を巻かないでください。→けがや事故をおこすおそれがあります。

- 電気メスなど電気手術器やMRI、CTスキャナーなど他の医療機器がある場所で使わないでください。→事故や誤作動の原因になります。

- 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。→引火の可能性があります。

- 病院内の高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しないでください。→発火の可能性があります。

- 乳幼児の手の届くところに保管しないでください。→エアホースプラグや乾電池など小さい部品を飲み込んだり、エアホースが首に絡まったりして、窒息や事故、けがの原因になります。

警告

- 分解・修理・改造をしないでください。→事故やけがのおそれや、本体が故障する原因になります。

- 本製品は電磁妨害（EMD）に関して、特別な注意が必要です。必ず、EMD技術資料に記載されたEMD情報にもとづいて、使用してください。

- 携帯電話および移動無線周波（RF）通信機器により、影響を受けることがありますので、30cm以上離して使用してください。
- 他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

注意

- 気温40°C以上または10°C以下の環境に血圧計を保管した場合は、使用環境範囲内の気温に2時間以上置いてからご使用ください。→誤作動の原因になります。

- 乳幼児や意思表示ができない方へのご使用はおやめください。→事故やけがの原因になります。

- 下記の状態や症状をお持ちの方は、医師の指導に従いご使用ください。

- 一般的な不整脈（心房性・心室性期外収縮、心房細動など）
 - 動脈硬化症 ・かん流不良 ・糖尿病 ・腎臓疾患
 - 妊娠中や妊娠性高血圧腎症(妊娠中毒症)
 - 乳腺切除した方 ・血管内挿管や動静脈シャントのある方
 - 未成年の方
- 正しく測定できないことがあります。

- 同梱のカフ（腕帯）以外は使用しないでください。→誤測定や誤作動の原因になります。

- 他の医療機器と併用しないでください。→誤作動の原因になります。

- カフ（腕帯）を巻いた側の腕や手に装着した医療機器がある場合、カフ（腕帯）の加圧によって、医療機器の機能に一時的な影響をおよぼすおそれがあります。

- 長期的な血流障害などを起こさないように腕の状態を確認し、異常の発生を感じたときは直ちに使用を中止してください。→事故やけがの原因になります。

- 血圧測定以外に使用しないでください。→事故やけがの原因になります。

- 古い電池と新しい電池、種類の違う電池を同時に使用しないでください。電池のの向きを間違えないようにしてください。→漏液、発熱、破裂などをおこし、本体が破損する原因になります。

- 本体に無理な力を加えたり、落としたりしないでください。→故障の原因になります。

- 本製品は在宅での自己血圧測定に使用するものです。不特定多数の被験者が対象となる医療機関・公共の場所で使用しないでください。

2. 付属品

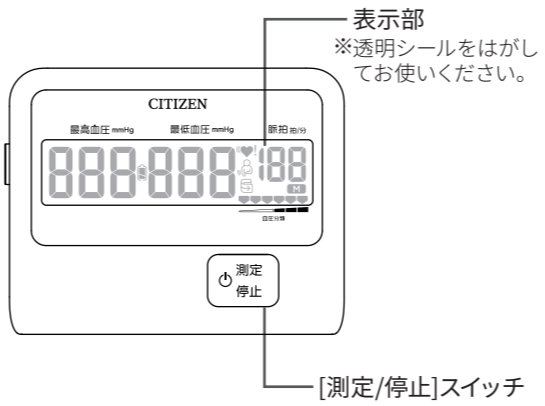
以下の物がそらっているかご確認ください。

- 本体
- 単3形アルカリ乾電池4本（モーター用）
- カフ（腕帯）型式：SCN-012D
- 取扱説明書/保証書

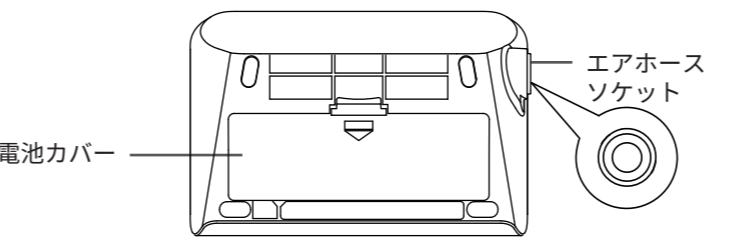
3. 各部のなまえ

本体

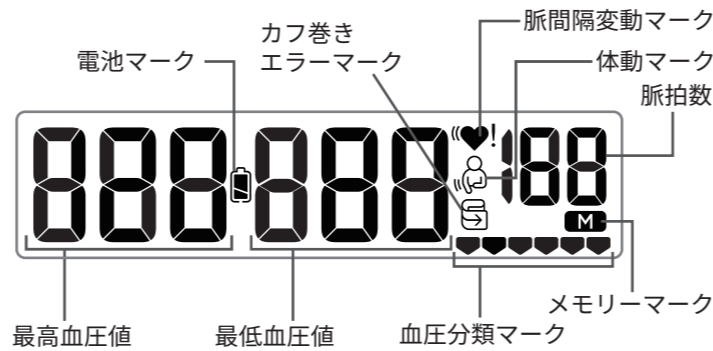
【正面】



【底面】

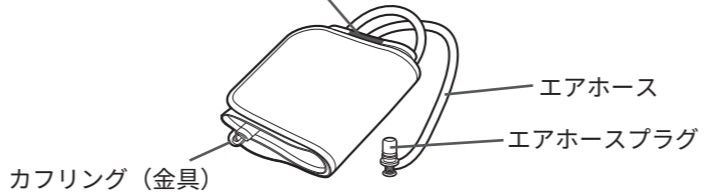


【表示部】



カフ（腕帯）

型式：SCN-012D

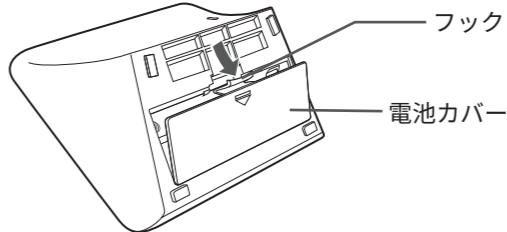


- 適用腕周範囲：22.0～32.0cm
- 腕周囲が22cm未満の方、32cmを超えた方が測定した場合、正しく血圧を測定できない場合があります。
- カフ（腕帯）は消耗品です。カフ（腕帯）の寿命は、約2,000回[1日6回（朝夜各3回）の測定で約1年]です。カフ（腕帯）が汚れたり、破損や空気漏れするなどして新しくお求めになる場合は、販売店または弊社お客様相談室（☎0120-88-6295）にお問い合わせください。

4. 電池を入れましょう

1 本体底面にある電池カバーを外します

- フックに指をひっかけて、下に押すようにしてカバーを開けます。



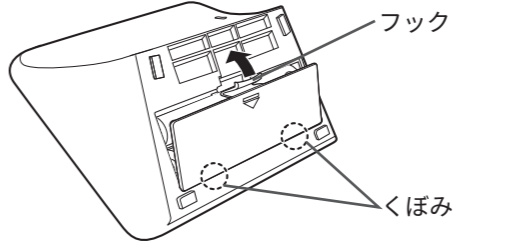
2 電池を入れます

- の向きを間違えないように、必ずバネの出ている側から入れてください。

- アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池以外は使用しないでください。また、これらの電池を混ぜて使用しないでください。
- ニッケル水素充電電池は、エネルギーをご使用ください。
- 電池を交換してもメモリーは保持されています。

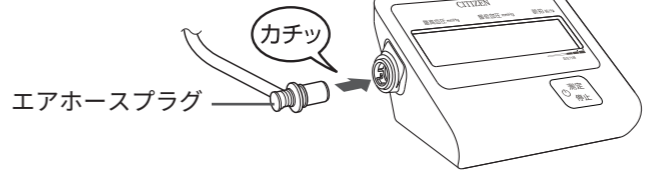
3 電池カバーを閉めます

- 電池カバーのツメを本体底面のくぼみに差し込み、「カチッ」と音がするまで、電池カバーのフックを閉めます。



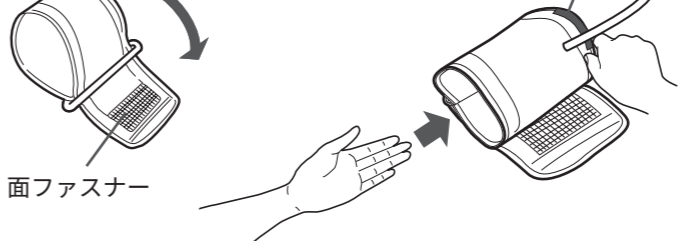
5. カフ（腕帯）を巻きましょう

1 エアホースプラグをカチッと音がするまで本体に差し込みます



2 カフ（腕帯）を左腕に巻きます

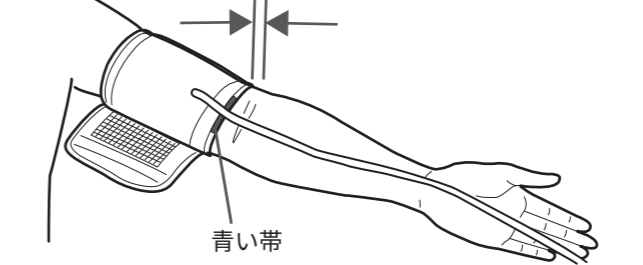
- ①面ファスナーをはがして広げます。
- ②青い帯が、手のひら側にくるようにして、腕に通します。



- カフ（腕帯）は素肌、もしくは薄い肌着の上から巻いてください。
- 厚い上着を着ている場合は、脱いでからカフ（腕帯）を巻いてください。また、衣服などをまくり上げると、上腕部が圧迫されて正しく測定できない場合があります。

3 カフ（腕帯）の青い帯を腕の中心に合わせます

ひじ関節のくぼみから1～2cmの位置に合わせます。



4 カフ（腕帯）を腕にぴったり巻きつけ、面ファスナーで固定します

- 巻きつけがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく測定できないことがあります。



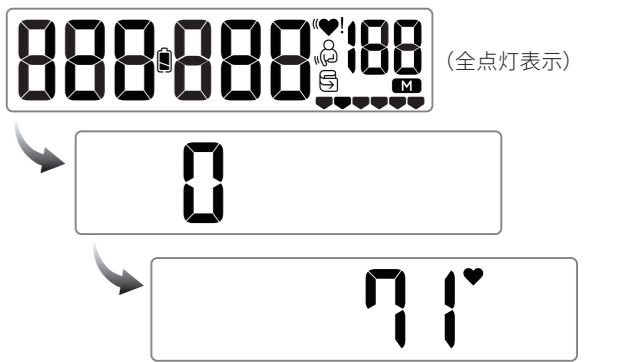
6. 測定しましょう

1 正しい姿勢をとります

- 裏面の「8.その他 正しい姿勢を確認しましょう」をご確認ください。

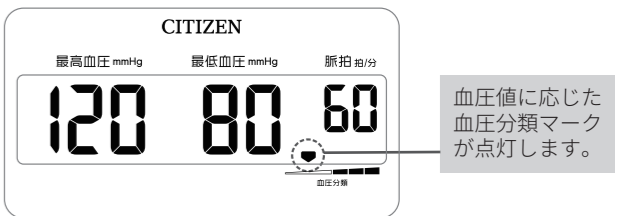
2 を押して測定を開始します

【表示部】

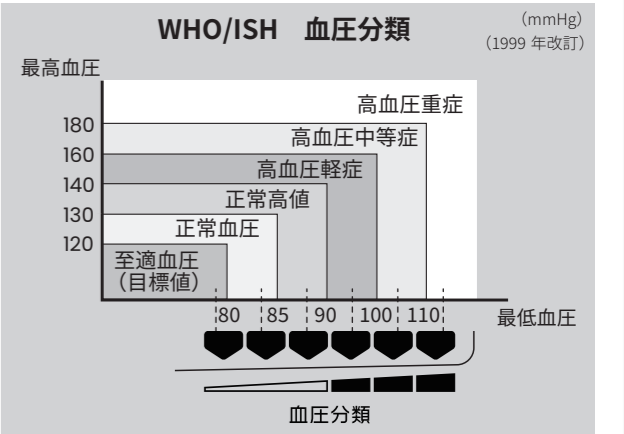


- 脈拍を感じるとが点滅します。
- 全点灯表示時のは、電池交換のお知らせではありません。
- 全点灯表示→前回の測定結果→測定開始の順番で表示します。
- 測定中、測定を止めるときや、強い圧迫感などの異常を感じたときは、**【測定/停止】**スイッチを押してください。スイッチを押しても空気が抜けない場合は、本体からエアホースプラグを抜き、腕からカフ（腕帯）を外してください。

3 測定結果が表示されます



血圧分類マーク
WHO（世界保健機関）/ISH（国際高血圧学会）の血圧分類でどの領域にあるかを、6段階の血圧分類マークでお知らせします。



体動マーク
測定中からだや腕などが動いて、大きな圧力変化を検出した場合に点灯します。正しく測れていないことがありますので、安静にして、もう一度測定してください。

脈間隔変動マーク
測定中の脈の間隔が不規則な場合、測定終了後に点灯します。測定中の脈の間隔が大きく変動すると、正しく測れていないことがありますので、安静にして、もう一度測定してください。頻繁に表示される場合は、ご自身の健康状態について医師に相談してください。

カフ巻きエラーマーク
カフ（腕帯）の巻き方がゆるい場合に点灯します。カフ（腕帯）を一度外し、ぴったり正しく巻きなおして、もう一度測定してください。

4 測定後 を押して測定を終了します

- 押し忘れても、約3分後に自動的に終了します。

マニュアル加圧

カフ（腕帯）を巻き、**【測定/停止】**スイッチを押し続け、停止したい圧力値（最高血圧値より約40mmHg高い）でスイッチを離すと、その圧力値で加圧を停止させることができます。加圧上限値は280mmHgです。

